取扱説明書 - エアー式 圧着工具 WA27-309-EP

VIDEO

適　用

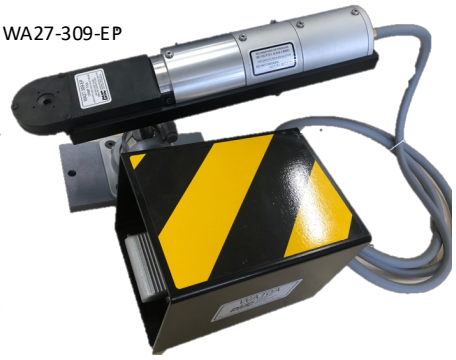
エアー式圧着工具の使い方を下記に記載します。

品 名　　圧着工具
品 番　　WA27-309-EP

品 名　　タレットヘッド（ロケータ）
品 番　　CXTP40（TP1137I）

品 名　　go / no go ゲージ
品 番　　G1005

WA27-309-EP



CXTP40（TP1137I）

G1005

対応圧着コンタクト仕様

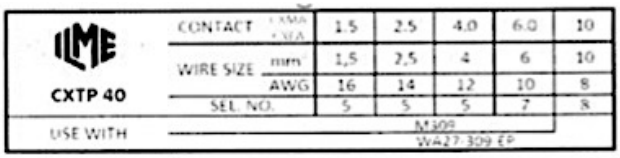
コンタクトタイプ	品 番	適合電線サイズ 1）			被覆剥き長さ	導体挿入穴径	適合タレット 品番（ロケータ）	圧着深度セレクターダイアルNo.	イメージ図
		AWG	mm²	SQ	mm	mm			
CX (40A)	CXMA/FA 1.5	16	1.5	1.25	9	1.8	TP1137I（CXTP40）	5	
	CXMA/FA 2.5	14	2.5	2	9	2.2		5	
	CXMA/FA 4.0	12	4	3.5	9.6	2.85		5	
	CXMA/FA 6.0	10	6	5.5	9.6	3.5		7	
	CXMA/FA 10	8	10	8	15	4.3		8	

1) AWG =米国, mm²= 欧州, SQ=日本, 各国一般的電線サイズに対応表となります。

工具の使用空気圧範囲

単位	バール	重量キログラム毎平方センチメートル	メガパスカル	重量ポンド毎平方センチ
	bar	kgf/cm²	Mpa	lbf/in², psi
Min.	5.5	5.6	0.55	80
Max.	8.3	8.45	0.83	120

データプレートの内容（タレットヘッド側面）



CXTP 40						
	CONTACT	CXMA / CXFA	1.5	2.5	4.0	6.0	10
	WIRE SIZE	mm	1,5	2,5	4	6	10
		AWG	16	14	12	10	8
	SEL. NO.		5	5	5	7	8
USE WITH			M309 / WA27-309-EP				

2018.06
イルメジャパン株式会社

工具のセッティング

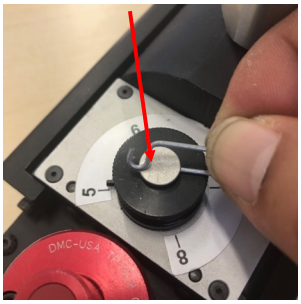
1．タレットヘッド（ロケータ）の取り付け

タレットのソケットヘッドネジが工具側のリング上にあるネジ穴に入るようにセットします。

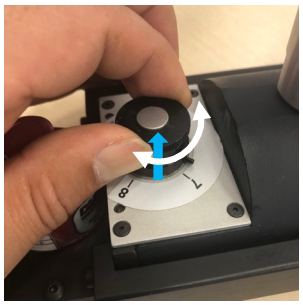
工具に付属している六角レンチ(3.5mm)でソケットヘッドネジを締め付けてタレットを工具に固定します。

2．圧着深度の設定

保持フック



圧着深度ｾﾚｸﾀﾞｲｱﾙの保持フックを外します。



タレット側面のデータプレートを見てｾﾚｸﾀﾞｲｱﾙ番号を選択し、ｾﾚｸﾀﾞｲｱﾙを持ち上げながら回して白線の位置にセットします。

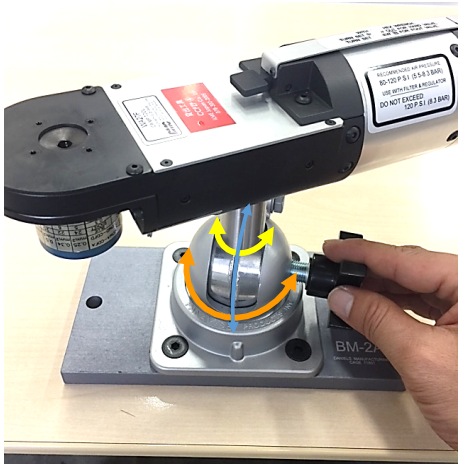
保持フックを戻しｾﾚｸﾀﾞｲｱﾙを固定します。

3．エアーコンプレッサーとフットバルブの接続

バルブ裏から継手付エアーチューブが出ています。

エアーコンプレサー側のソケットカプラを接続します。

4．工具の角度調整



台座の黒いノブを左に回して工具の角度調整を行います。

支柱は90度（垂直-水平）傾けることができます。
支柱は360度回転させることが出来ます。
ベース部分は360度回転させることが出来ます。

工具を任意の角度に調整出来たら、黒いノブを右に回して固定します。（完了）

圧着結線の手順

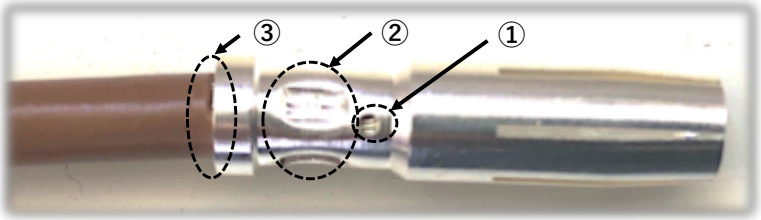
規定の長さで被覆を剥いた電線にコンタクトを装着します。

圧着口部にコンタクトが止まるまで挿入します。

フットバルブのペダルを踏むとコンタクトが圧着されます。

電線を引っ張って圧着されたコンタクトを取り出します。（完了）

圧着後の確認事項

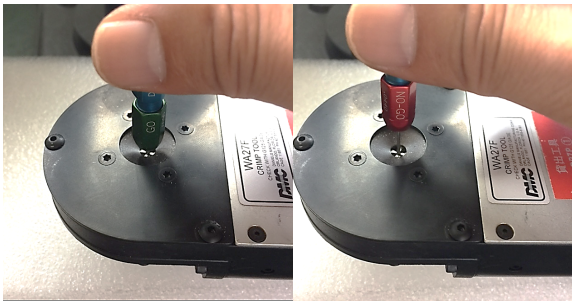


① 点検穴から導体が見えること
② 圧着位置が正しいこと 8点の窪みがあること
③ コンタクトから導体(ヒゲ）がはみ出ていないこと

工具校正点検

工具の圧着深度が適正かどうかを確認するためには、対応するgo/no go検査 ゲージ（G1005）を使用します。

①工具の圧着深度セレクターダイアルをNo.5 にセットします。
②フットバルブをONにしてかしめ口部が完全に閉じた状態にします。



③かしめ口部に go/no goゲージ（型番：G1005）を真直ぐ挿入して確認します。
ゲージgo側(緑)は圧着口部を通過しなければなりません
ゲージno go側(赤)は圧着口部を通過してはいけません

go/no go ゲージ検査が不合格の場合はメンテナンスが必要ですので弊社までご連絡下さい。